

第1学年 英語科 学習指導案

日時 平成29年11月27日(月)

学級 1年A組(男子13名 女子12名 計25名)

授業者 教諭 千葉 知恵子

1 単元名

My Project 2 人を紹介しよう (開隆堂)

2 単元について

(1)教材について

My Project は、「4技能の総合的な育成」と「4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成」に対応しており、それまでに学んだ言語材料を振り返り、統合的に活用することを通して、その言語材料の定着を図るとともに、生徒のコミュニケーション能力を高めることをねらいとした単元である。

My Project 2ではこれまでに学習した三単現、すべての人称代名詞、多くの疑問詞、そして助動詞 can を統合的に用いて人を紹介する。自分の身の回りの人(友達や家族など)、自分の好きな人物(映画スター、ミュージシャン、スポーツ選手など)、自分が尊敬する人物などを、思いを込めて紹介できるようにする。

マッピング等を用いて、自分が伝えたいことを構想し、順序だてて説明すること、また事実をただ羅列するのではなく、自分とその人物との関わりや気持ちなども加えて紹介することで、より深い紹介文を作成し、発表する。

(2)生徒について

生徒は一学期に My Project 1 として「自分のことを話そう」に取り組んでいる。既習の文法事項を使って 40 語以上の英作文に取り組み、発表した。声の大きさやイントネーション、そして相手を意識しながらの表現活動に取り組むことにより、英語を使う喜び・楽しさを実感することができた。今回はこれを踏まえて人の紹介に取り組むが、三単現や can を学習することによって表現の幅がより広がった。

普段の授業は落ち着いた雰囲気に参加しており、英語の歌を歌ったり、音読をしたりすることを苦にせず、意欲的に取り組む姿が見られる。ペアで読み合ったり、小グループで問題演習したりすることもいとわない。しかし単語力や読み取りなど徐々に上位と下位の差が広がってきた。ペアやグループを用いて教えあったり、励まし合ったりしながら取り組ませたい。

(3)指導について

ここでは、既習事項を用いて統合的な言語活動を行う。教科書の例文を読み取り、文章構成を確認し、それを参考に自分の原稿を作成する。その原稿を互いに読み合い、加筆修正し、清書させ、個人練習・ペア練習を行い、十分に口頭練習を行い、準備をすところまでもっていきたい。ペアで互いの作文を読み合うなかで既習の文法事項がしっかり押さえられているか、発音やアクセントは正しいか、基礎・基本の確認も含めて指導していきたい。

単元構成の中に、「覚える」「考える」「まとめる」時間を設定し、本校研究とのかかわりをふまえながら、その中で次の3点に留意して指導する。

【研究主題】 「考える力」を身に付けた生徒の育成 ～思考を揺さぶる場の工夫を通して～

一つ目として、理由づけされた表現活動を行う場面を設定する。

二つ目として、思考を揺さぶるために「思考のすべ」を用いる場面を設定する。

三つ目として、小グループやペアでの活動を積極的に取り入れる。

3 単元目標

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	・聞き手が理解しやすいよう、英語らしい発音に気を付けジェスチャーやアイコンタクトを取り入れ、工夫して話すことができる。
表現の能力	・6文(または40語以上)の紹介文を書くことができる。 ・マッピングをもとに、言いたいことが相手に伝わるような文章構成を意識して書くことができる。
理解の能力	・モデル文A・Bのそれぞれの紹介文の流れをつかむことができる。 ・友人の発表を聞いて、概要をつかむことができる。

○単元目標設定に関わる本校のCANDOリスト

書くこと：身近なテーマ(自分や友人に関すること)について、5文～8文(50語)程度のまとまりのある文章を書くことができる。

4 単元の指導計画及び評価規準 (4時間)

単元テーマ「人を紹介する」

時 数	学習内容	指導内容	時 間	評 価				
				関	表	理	言	評価規準
1	教科書の例文を読み、内容を理解する。	初音ミクの紹介文を読んで、内容を読み取ろう。	覚 え る	○		○		・モデル文A・Bのそれぞれの内容を読み取ることができる。
2	誰について発表するかを考え、マッピングで言いたいことを整理する。	マッピングをして話したいことを整理しよう。	考 え る	○				・言いたいことが相手に伝わるように、文章を構成しようとすることができる。
3 本 時	マッピングや、既習事項をもとに作文をし、修正・練習する。	人について紹介する作文を書こう。	ま と め る		○			・6文(または40語以上)の紹介文を書くことができる。 ・マッピングをもとに、文章の流れを意識して書くことができる。
4	人についてみんなの前で発表しよう。	人について発表しよう。	表 現 す る	○	○	○		・聞き手が理解しやすいよう、ジェスチャーやアイコンタクトを取り入れるなど、工夫して話す。 ・言いたいことが相手に伝わるように、ポイントを強調して話す。

5 本時の指導

(1) 目標

人を紹介する英文を6文(40語以上)で作成し、練習することができる。

(2) 評価規準

観 点	評 価 規 準
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・6文(40語以上)の紹介文を書くことができる。 ・マッピングをもとに、文章構成の流れを意識して書くことができる。

(3) 本時の学習内容と研究とのかかわり

ア理由づけされた表現活動

自分の身近な人や紹介したい人物についてつながりのある構成を考えて作文をする。

イ「思考のすべ」を活用した授業展開

個人で作成した英文を友人と交換し、互い読み合うことによって鑑賞比較し、校正しながらより良い作品に仕上げる。

(4) 展開

段階	学習活動 (○主な活動 ・生徒の反応)	形態	指導上の工夫及び留意点	評価
導入 5分	1 学習課題の設定をする ○前時の振り返りをする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">人を紹介する英文を40語以上で作成しよう。</div>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをしながら、本時の課題を設定する。 	
展 開	2 予想をたてる ○マッピングや今までの既習表現の中から作文に使えるものを考える。 3 見通しをもつ ○文章構成を意識した紹介文の作成についての見通しを持つ。 4 自力解決をする ○6文(40語)を目標に英作文に取り組む。 5 伝え合いをする。 ○ペアで交換し、互いの良いところを伝え合う。 ○文法事項など間違っているところは教え合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・順番を変えたら読み手に伝わりやすくなった。 ・三単現に注意できた。 ・疑問文を入れるともっと聞きやすいと思う。 </div>	一斉 一斉 個人 ペア	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を思い出し、紹介文を作成するのに使える表現を想起させる。 ・生徒がゴール像をイメージできるようにする。 ・聞き手を意識し、どんな順番で組み立てればよいかを考えさせる。 ・上位の生徒には8文50語以上を目指すように指示をだす。 ・マッピングや文章構成を見ながら、英文を作成させる。 ・考える視点を明確にするために「思考のすべ」を用いる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【思考のすべ】 比較・関連付け 【教師の発問】 ペアの紹介文を読み、良いところ、直した方がよいところはありませんか。お互いにアドバイスをして、より良い紹介文を作成しましょう。 </div>	【表現の能力】 英作文 観察 ペアワーク

3 7 分	<p>6 深め合いをする。</p> <p>○互いに確認しあった英文を確認する。良いところは全体に還元する。</p> <p>○ペアで音読練習を行う。</p>	一斉 ペア	<ul style="list-style-type: none"> ・文法ミスや単語のスペルミスがないか確認させる。 ・文章構成が自然な流れになっているかどうかを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・発音やイントネーション，強調するところに注意しながら練習させる。 ・相手を意識した発表ができるようにペアで練習をさせる。 	
ま と め 3 分	<p>7 振り返りをする</p> <p>○作文を読み直し，次回の発表への準備を行う。</p>	個人		

(5)板書計画

人を紹介する英文を 40 語以上で作成しよう

文章の組み立て

導入 Hello, everyone.

本文 Look at this picture.

This is ○○○.

He is my student.

He lives in Akita.

...

結び Thank you for listening.

